

共に歩む市民の会 会報

たまり場広報委員会

第 10 号

☎241-0002

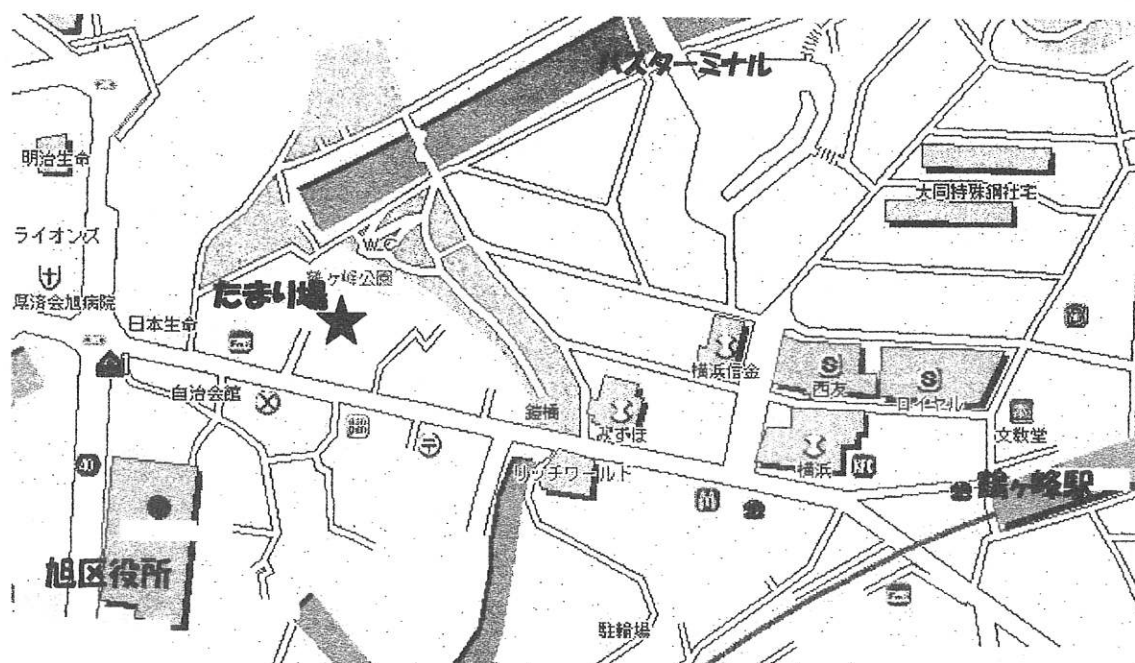
横浜市旭区鶴ヶ峰 2-2-4

☎045-953-6727

2002年11月15日発行

移転しました！

11月1日、たまり場が下記の場所に移転して、新たにオープンしました。
今までのたまり場同様、新たなたまり場もよろしくお願いします。



開所時間 毎週 水曜日 13時～20時
金曜日 13時～20時（夕食会を開いています）
土曜日 11時～17時

問合せ先

955-3853(マインド葦 青柳)

955-4046(おくとりの家 川田)

951-9811(神奈川病院デイケア 福原)

たまり場からの贈り物 ～猫に寄せて～

吉田 和子

「たまり場」の網戸越しにミャーミャー甘えていた子猫のナンジャラが子猫を生んだのは、丁度一年前の秋のことでした。窓際の夏椿の根元にうずくまり、足元に小さな塊が三つ。確かに動いています。夕食会に集まった人達は「あんな小さい体でよく産んだね。」「近寄ったらダメ。殺してしまうよ。」など子猫の話題で持ちきり。たまり場での新しい命の誕生に興奮気味でした。野良のごく小さな子猫が突然母親になった驚きといとおしさ。何はともあれ母乳だけはたっぷり出るように、と餌付けが始まりました。



母親の保護の下、3匹のアイドル娘達はすくすくと育ちました。茶トラは母親べったりの甘えん坊。キャメルの一匹は好奇心旺盛で遊び好き。あとの一匹はシャイ、と個性豊か。しっぽの無い母親のDNAは3匹ともしっかり受け継いでいます。母乳と平行に餌が食べられるようになると、ナンジャラはまず子猫が食べ終わるまでじっと見守り、それからおもむろに食べ始めます。相変わらず小さい母猫がとっさに守れるのは一匹。いつもそばに引き寄せ、人にもなでさせますが他の二匹が人に近づこうとすると、さっと間に割って入り警戒を怠りません。初産にしてこの見事な母性に感心しました。

不妊手術の時期が来ました。まずは母親から……とOさんが獣医さんに予約を取って下さったのにどうしても捕まらずキャンセル。困り果てていた時、道端にビニール張りの団扇が立ててあり「野良猫の不妊手術をします。」の文字。表示の野中さんに早速電話。「殺処分から生かして減らす不妊手術を！」のステッカーを張った車で現れた彼女はきびきびした動作の中に慎重さと、猫達への限らない優しさを秘めた女性です。捕獲器に餌を入れ寒風の中、根比べの3時間。ようやく成功。慌しい年の瀬の事でした。あくる年の2月初めには3匹の子猫の手術も終わりほっとしました。しだれ梅や桜吹雪、木漏れ日や木々を渡る風の音を聞きながら追いかけてっこをしたり熊笹の茂みでかくれんぼをしたり、四季折々の自然の恵み豊かな野口邸の庭で子猫達はのびのび育ちました。それを見守る母猫。一幅の絵のようでした。

いつも門のところで足音を聞きつけ餌場まで先導してくれた母猫が突然姿を消したのは初夏の頃でした。子猫の成長と共に餌の絶対量が足りない事を感じ、自ら身を引いたのでしょう。切なく心に残る出来事でした。(その前に人なつっこいキャメルの子猫は拾われたのか姿が見えなくなり、たまり場の猫は子猫2匹になってしまいました。)次に母猫を見たのは「お月見夕食会とミニコンサート」の夜でした。40名近い方々が集まり恒例の伊達さんの「お月見弁当」と、佐藤さん宮地さんによる「ミニコンサート」を楽しみ「野口邸最後の夜」を去り難く、ライトアップされた庭を数人で眺めていた時、子猫から少し



離れて母猫ナンジャラがいたのです。子猫達や皆にお別れを言いに来たのでしょうか。相変わらず小さく子猫達の方が一回り大きくなっていました。餌をやっても口にしようとせず胸つかれる思いの私を見上げ、遠慮がちに一口だけ食べ再び姿を消しました。

お当番の度に猫達に声をかけ餌やりを続けて下さった荒井さん足立さん深井さん田山さん達。餌を持ち寄ったり不妊手術や餌代のカンパなど、小さい命に暖か



い関心を持ち見守って下さった大勢の方々。本当にありがとうございました。野中女史との出会いも忘れることが出来ません。これから2匹は我が家で新しい生活を始めます。たまり場の樹木に因んで「キヤラ」と「楓」と名付けました。今までとは全く異なる狭い環境の中で先住者の13才の雄猫マイケルと、どんな折り合いを付けていくのでしょうか。その後日談は折りあらばまた報告させていただきたいと思っています。

2002年度「共に歩む市民の会」総会報告

柴田 祐子

6月22日(土)に「ぱれっと旭」において「共に歩む市民の会」2002年度定期総会が行われました。議長に福島さん(あけぼの会)が選出され、その他司会は森さん(旭福祉保健センター)、議運は大坂さん、書記は柴田(日向台病院)が担当しました。出席者は個人会員19名、団体会員3名、また委任状が19名で総会成立となりました。

まず、副代表の紺野さん(神奈川病院)より、「会規約改正」に関する提案が出されました。

規約第11条3.「総会は正会員の1/3以上の出席(委任状を含む)をもって成立する」と改正し、総会の成立条件を明確にすることで賛成可決を得られました。

議事は滞りなく順に承認されましたが、特別には事務局の川田さん(むくどりの家)から、総会一週間前のニュースとして、家主から現在のたまり場の家をできるだけ早く空けて欲しいとの申し出が突然あり、今後のたまり場の持ち方について至急話し合いをする必要があるとのお話がありました。鶴ヶ峰付近で適当な物件を探していく方向でとのことでした。(後日、最適な物件が見つかり10月に引越しをすることができました。)

また、平成15年2月に保土ヶ谷生活支援センターが開所されることを受けて、たまり場のフリースペースの利用者が減少するのではないかと予想されるので、たまり場事業そのものを見直していく必要があるのではないかとのお話もありました。

電話相談活動「語らい電話」については2ヶ月に1回程度勉強会を開いたり、行政等で行っている電話相談とは異なる特色を出せるよう、例えばリピーターへの対応を充実させるなどの計画もあるようです。

予算の面では、収入の要でもある「区作り推進費補助」が、今年度はピアヘルプ事業の準備・試行を中心に打ち出して助成されたことも考慮し、当事者どうしの助け合い活動を発展させ、地域での生活の支えと生きがいにつなげていくことを目的とした事業展開を始めていく予定です。そのためピアヘルプの学習会(講師謝礼)や専属相談員雇用費を新たに予算に設けました。また、たまり場の転居が決まり次第、補正予算を提出することも予定されています。

引き続き「第4回旭区精神保健福祉セミナー」の開催も予定されています。今年度も「やどかりの里」(さいたま市)の協力を得て3月頃実施することになるのではないのでしょうか。

今年度は思いがけなく、「たまり場の引越し」というビッグイベントがあり、短い期間で様々な変化に見舞われました。新しい場所でたまり場が、今まで以上の多くの方々に利用され、くつろげるスペース、いつでも立ち寄れる暖かいみんなの家になっていければと思います。



第5号議案 2002年度予算(補正案)

収入の部	今年度予算	前年度予算	差引	説 明
前期繰越金	266,367	426,712	△ 160,345	
会費収入 個人正会員	240,000	300,000	△ 60,000	6,000×40人
団体正会員	240,000	360,000	△ 120,000	30,000× 8団体
賛助会員	60,000	60,000	0	3,000×20人
寄附金	650,000	350,000	300,000	
利用料 個人	30,000	50,000	△ 20,000	50×600 人
団体	35,000	35,000	0	500×700 回
家賃収入	0	40,000	△ 40,000	
区作り推進費補助	1,818,000	1,820,000	△ 2,000	
横浜市市民活動助成金	148,000	74,000	74,000	
雑収入	22,633	24,288	△ 1,655	
計	3,510,000	3,570,000	△ 60,000	
支出の部				
家賃	1,490,000	1,440,000	50,000	120,000 × 6 110,000 × 7
光熱費 電気代	33,000	108,000	△ 75,000	
ガス代	26,000	108,000	△ 82,000	
水道代	15,000	60,000	△ 45,000	
通信費 電話代	95,000	120,000	△ 25,000	
郵送料	30,000	30,000	0	総会ニュース発送 等
消耗品費	48,000	60,000	△ 12,000	事務用品・お茶 等
会議費	24,000	24,000	0	
講師謝礼	120,000	100,000	20,000	30,000 ×4 回
相談員雇用費	224,000	0	224,000	W1×28週 ×8000
備品	60,000	100,000	△ 40,000	電気ボット・冷蔵庫 等
雑費	23,400	30,000	6,600	
ボランティア代	779,100	972,000	△ 192,900	700 ×21×53
管理費(掃除・庭木)	82,500	0	82,500	2100×25
事業費	180,000	200,000	△ 20,000	セミナー・クリスマス 等
パンフ印刷代	30,000	30,000	0	
予備費	140,000	188,000	△ 48,000	
新たまり場敷金	110,000	0	110,000	
支出計	3,510,000	3,570,000	△ 60,000	